



全校生徒で玉入れ

Thank you
Australia

DAY2 ウェルカムパーティー

DAY3 Stella Maris Primary School - ステラマリス小学校へ

DAY4

生徒たちと一緒に授業へ参加

DAY5 Japanese Day で発表

グローバル化する現代社会に対応できるコミュニケーション力と国際感覚を持つ人材を育成するため、市内の中学2年生をオーストラリアへ派遣しました。

参加者は14人。54人の申込者の中から、作文と面接の審査を経て選ばれました。

生徒たちは、受け入れ先となったホストファミリーと共に生活する中で生きた英語を学び、日本とは異なる文化や習慣に触れて過ごしました。滞在中は、現地の小学校で日本や安曇野市についても紹介したほか、同世代の学生がいる中高一貫校を訪れるなどして交流を深めました。

5月27日には、帰国報告会が市役所で行われ、生徒の家族や市民など約70人が参加。生徒たちは、ホストファミリーとの生活や学校での様子などを報告したり、ホームステイを通しての英語や異文化に対する気持ちの変化を発表したりしました。

生徒たちの体験作文集は、学校教育課（3階7番窓口）または市ホームページでもご覧いただけます。

図学校教育課学校教育係

TEL 71・2460 FAX 71・2338

中学生海外ホームステイ報告

全身で感じた 10DAYS



3月17日から26日まで、市内7校の中学生14人が、オーストラリア・メルボルン市でホームステイしました。中学生たちがこの10日間で新たに出会い、学んだことを紹介します。

世界への 架け橋

おおくらかつや
大倉克哉さん
三郷中



僕がこのホームステイで感じたことは、オーストラリアの人は異文化に対して寛容だということです。オーストラリアは様々な国の人が互いに尊重し合う多文化社会です。だから初めての人にもとても温かく、フレンドリーに接してくれます。そうした人達の中だったから、僕はたとえ英語が上手に話せなくても、積極的に相手に伝えようという気持ちになれました。

これからも様々な国の文化を学び、英語力を高めて、日本と世界の架け橋となれるように努力していきたいです。

日本から 世界へ

やまざきゆうづき
山崎悠月さん
穂高東中



私はホストファミリーの子供達が通う小学校で、生徒達の物事への取り組み方に感動しました。枠にとらわれず、一人一人が個性を出し合って伸び伸びと取り組む姿を見て、自分にも何か変えるべきところがあるのではないかと感じさせられました。

将来私は、自動車関係の仕事に就きたいと思っています。伸び伸びとしたアイデアで、世界に発信できる開発をしたいです。今回学んだコミュニケーション力を礎に、挑戦を続けていきます。

自分を変える ということ

せきさつき
関彩都季さん
明科中



私にとってこのホームステイは、自信のない自分を変えるためのチャレンジでした。不安と緊張を抱えながら向かったメルボルンでしたが、ホストファミリーに会った瞬間、それは期待へと変わりました。

英語というツールを通し、心と心を通わせるということを学びました。積極的にコミュニケーションをとろうとする気持ちが、理解してもらうことに繋がるということを実感しました。

この経験を通し、私は自分の考えを人に伝えられるように、そして相手を想ってより良い行動ができる人になりたいと思います。

日 程

3月17日(土)
安曇野市⇒成田空港⇒メルボルン国際空港

3月18日(日) 【ホームステイ】
ウェルカムパーティー、ホストファミリー・ホストスクール校長紹介
終了後、各ホストファミリー宅へ移動

3月19日(月)～20日(火) 【ホームステイ】
Stella Maris Primary School(小学校)で通常授業に参加

3月21日(水) 【ホームステイ】
Stella Maris Primary School(小学校)で通常授業に参加
全校集会「Japanese Day」で日本について紹介、副校長より修了証の授与

3月22日(木) 【ホームステイ】
Kilbreda College(中・高等学校)で現地生徒との交流・ディスカッション

3月23日(金) 【ホームステイ】
メルボルン市内観光、公共機関を使って移動し名所見学

3月24日(土) 【ホームステイ】
各自ホストファミリーと観光、ショッピング等

3月25日(日)
ホストファミリーとお別れ、メルボルン国際空港⇒成田空港

3月26日(月)
成田空港⇒安曇野市

私の ホームステイ 奮闘記

ひがしはらこはる
東原小春さん
豊科南中



私がこのホームステイを通して学んだことは、失敗を恐れずに挑戦することの大切さです。初めは失敗が怖くて上手く会話ができませんでした私ですが、勇気を出して色々な英語を口にしてみたら、みんなが笑顔になってくれました。普段の生活でも、失敗を気にして自分で限界を決めないように、どんなことにも挑戦していけるといいと思います。

「伝えたい」と 思う気持ちを 大切に

こんどうちふみ
近藤千文さん
堀金中



私はこのホームステイで、「たくさん会話をする」という目標を立てました。それは楽しいことであり、同時に難しいことでもありました。メルボルンの人は皆親切で温かく、英語力の未熟な私の話にも熱心に耳を傾けてくれました。伝えたいことを精いっぱい話し、それが分かってもらえた時はとても嬉しかったです。

今後はさらに英語を勉強し、自信を持って再びメルボルンに行けるよう頑張りたいです。

DAY6 Kilbreda College - キルブリダカレッジでの交流

DAY7 メルボルン市内観光

DAY8 ホストファミリーと

DAY9 ホストファミリーとのお別れ

